



名古屋天王祭山車行列古写真（パネル展示） 徳川慶勝撮影
江戸時代・19世紀 徳川林政史研究所蔵

特別史跡 名古屋城
西の丸御蔵城宝館
NISHINOMARU OKURA MUSEUM

令和7年4月26日
7月13日

写された 名古屋城

特別出品

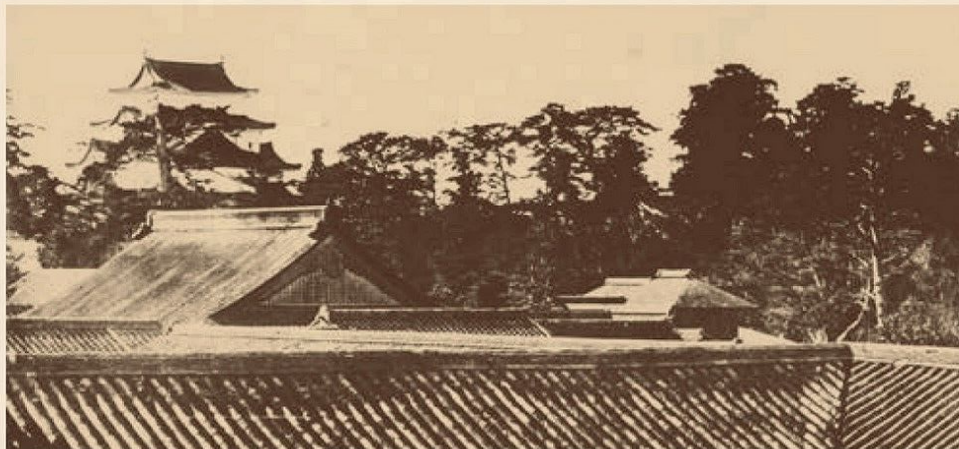
徳川慶勝よしかつ撮影写真帖



名古屋城天守古写真 香村清太郎撮影
明治12～24年（1879～91）頃
名古屋城総合事務所蔵



徳川慶勝肖像写真 昭和8年（1932）複写
〔原本：慶応元年（1865）撮影〕
名古屋東照宮所蔵



名古屋城二之丸御殿・天守古写真（パネル展示） 徳川慶勝撮影 江戸時代・19世紀 徳川林政史研究所蔵

会場：名古屋城 西の丸御蔵城宝館
開館時間：午前9時～午後4時30分（最終入館午後4時）
ただし、催事等により変更となる場合があります。
休館日：会期中は無休
入館料：入館無料
*名古屋城観覧料500円
（名古屋市内在住65歳以上100円・中学生以下無料）が必要です。
主催：名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター
協力：一般財団法人名古屋城振興協会
特別協力：公益財団法人徳川黎明会 徳川林政史研究所

名古屋城 西の丸御蔵城宝館 特別展

写された

名古屋城

— 特別出品
徳川慶勝よしかつ撮影写真帖 —

令和7年 4月26日土 ▼ 7月13日日

名古屋城は、廃藩置県後も天守・御殿をはじめとする本丸主要部が保存されたこともあり、数多くの写真が遺された城としても特筆されます。特に14代藩主だった徳川慶勝は、西洋伝来の写真に興味を抱き、自ら名古屋城内の撮影を行うという特異な才能を発揮しました。名古屋城内と判る写真だけでも200枚を数えます。

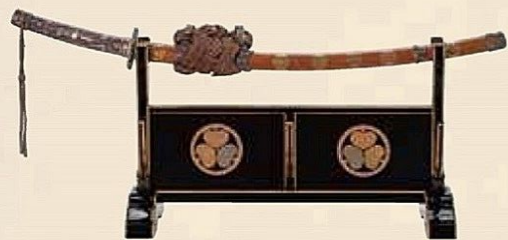
また、昭和初年に名古屋城の管理を引き継いだ名古屋市は、戦災焼失前の国宝建造物を中心に700枚以上のガラス乾板撮影を行いました。近代以降に撮影された写真を含む、これら一連の写真群は、失われた往時の雄姿を鮮明に捉えているとともに、名古屋城復元のための重要な記録となっています。この貴重な文化財を広く市民に知っていただくため、名古屋城西の丸整備の完成を記念し、門外不出の徳川慶勝撮影写真帖の内、名古屋城写真を納めた2冊を特別に借用して公開するとともに、名古屋城が所蔵するガラス乾板写真の一部を展示し、国内屈指の名城と讃えられた往年の景観をご紹介します。



名古屋城ガラス乾板写真「本丸敷地内建造物俯瞰」
昭和15～16年(1940～41)頃 名古屋城総合事務所蔵



名古屋城郭図屏風 川崎千虎筆 江戸～明治時代・19世紀 名古屋城総合事務所蔵



梨子地菱紋散蒔絵太刀拵
徳川義宣所持・徳川慶勝奉納 江戸時代・19世紀 三輪神社旧蔵
名古屋城総合事務所蔵



大名小路図(「柳城禁図」挿絵) 江戸時代・安政5年(1858)
名古屋城振興協会蔵



名古屋城 西の丸御蔵城宝館 交通アクセス

地下鉄/名城線「名古屋城」下車(7番出口から東門まで徒歩5分、
東門から徒歩10分
市バス/栄13号系統(栄～安井町西)「名古屋城正門前」、
なごや観光ルートバス「メーグル」名古屋城下車正門まで徒歩1分、
正門から徒歩2分

お問い合わせ

名古屋城総合事務所
〒460-0031 名古屋市中区本丸1番1号 TEL(052)231-1700
<https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/>



名古屋城ガラス乾板写真「天守四階内階段」
昭和15～16年(1940～41)頃 名古屋城総合事務所蔵